



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN's CLUBS
TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANI EVER RIGHT

The Y's Men's Club of Kyoto Tops

Chartered
10th July 1994
6月号
第17巻
第12号
通巻204号

倉卓也会長主題：『あしたのために』～一歩一歩を大切に～

- 国際主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
- アジア区主題 Once More We Stand 心新たに立ち上がろう
- 西日本区主題 飛翔たとう ワイズスピリットを胸に 泰然自若の精神で
- 京都部主題 ワイズにビジョンを、思いやりと共に ～世界のワイズが輪になって～
- メネット主題 「愛の心」～原点に立ち返って私たちに出来ること～

会長：倉卓也
副会長：新山 堅一
加藤 清一
書記：藤田 正康
笠井 俊明
会計：東田 吉未



ヨハネの黙示録3.20 . 4.8

加藤 信一 ys選

「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能者である神、主、かつておられ、いまおられ、やがて来られる方」



『ありがとう、トップスクラブ』

会長 倉卓也 ys

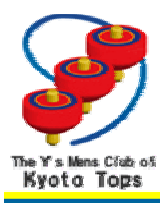
皆さんから『会長』と声をかけていただけるのも残すところあと僅かとなりました。この1年間、なんとか任期を満了することが出来そうで正直「ほっ」としておりますが、どこか淋しさを感じています。毎回午前様がお約束の三役会で議論した三役さん、各事業に熱心に取り組んでくださった委員長・役員さん、いつも笑顔で「会長！」と声をかけてくださったトップスクラブのメンバーの皆さん、本当にいろいろと支えていただきありがとうございました。また、メンバーみんなの熱心さやクラブに対する愛情が私の心を支えてくれました。本当にありがとうございました。そして、迷惑のかけっぱなしだった家族のみんな、職場の皆さん、心から感謝致します。協力して下さりありがとうございました。

会長職任務を通じて人として、ワイズメンとしてたくさんの事を経験させて頂きました。また、今まではトップスクラブ内での交流が主でしたが他クラブの会長さんや主査や役員さんとのたくさんの出会いの中からたくさんの事を学びました。その中から気づいた事があります。トップスクラブは素晴らしいクラブだという事です。前から良いクラブだとは分ってましたが、会長となり他クラブの事や他クラブのメンバーの事を見聞する内に改めてトップスクラブの素晴らしさを実感しました。もちろん他クラブにも素晴らしいクラブ、素晴らしいメンバーはおられますが、『親バカ』と申しましょうか、『会長バカ』なのかもしれません。それを上回ってトップスクラブが『イイっ!』と感じました。そんなクラブの会長でいられることをとても誇りに感じました。

私は、こんなに素晴らしい経験は少しでも早くメンバーのみんなにしてほしいと思います。もっとクラブが好きになるし、もっとワイズの事がわかるし、もっと人生が楽しくなるはず。私が今期の経験の中で得たモノを今後のクラブ活動の中や、社会、家庭の中で活かしてゆけるようこれからもがんばりたいと思います。最後にもう一度、私のような頼りない会長に一年間、ご支援・ご声援いただきありがとうございました。心より感謝致します。

エコ標語 **マイカー通勤**
ハンドルを自転車に変えて、脱メタバ 野原裕隆 作

6月強調月間 **評価・計画**
全ての事業について評価される結果を残し、更なる発展を時期にゆだねる。一年間の事業活動内容を提出し、その評価を得る。



	第一例会出席	BFポイント	スマイル	ファンド	献 血
5 月 報 告	メンバー数 (広義会員3名含)	34名	現金 0円	5月 0円	5月現金 0円
	出席メンバー	31名	現 金 切 手		5月 0cc
	ゲ ス ト	6名			
	メ ネット	0名			
	メーキャップ	0名			
	出 席 率	94%	累 計 0円	累 計 83,300円	収益累計 877,162円



例年の合同例会は、ちょっとお祭り気分の例会であったのですが、やはり3月の東日本大震災の影響があり、予定されていたコンセプトも変更となったようです。そして皆さんご存知の、どこの小学校にでもあるあの彫像、二宮尊徳から数えて七代目子孫の、リレイト代表中桐万里子さん講師としておいでいただきました。演題は「七代目が語る二宮金次郎の知恵と実践力」～周囲を活かす豊かな人づくりと生き方の極意～で、その内容は、あえて一言で言うならば（一言では言えませんが）「報徳思想」にあります。報徳思想とは、「先に与えてから取る（ギブアンドテイク）」の思想を一步進めた思想です。説明によると、人は、自然と世間から「先に」十分な恩恵をいただいている。そしてそのことに気付けば、「ああ私はなんて幸せ者なのだろうか」と思い感謝せざるを得ない。感謝感謝で、「そうだ、自然や世間にお返ししよう。」と、それを頭で思っているだけでなく体で実践する事が大切だと言っているのです。（ギブアンドテイクではなく、すでにテイクしているのでギブしたくなる）尊徳は裕福な農家で育ったにもかかわらず、当時、頻繁に起こった飢饉で、14歳の時一家は離散し、伯父の家で養われることになりました。しかし、その後の非常な苦勞を乗り越えて20歳で伯父の家を出て自家に戻り、4年後に再興を見事に果たしました。この自家再興の手法が評判となり小田原藩家老服部家に勤め財政建て直しに成功し、その後15年間に渡り、次々と各地の復興事業や飢饉救済に力を注ぎ、56歳で幕臣となり、日光領など幕府領の最高にも勤め、70年間の生涯を通じ、かかわった地域は600余村に達します。しかし、この二宮尊徳の報徳思想がこの現代日本で再認識され、広がりそして、世界に輸出されるようになれば、この世界は人々が奪い合いをすることなく、もっと豊かに楽しくなるのではないのでしょうか。

今回の東北大震災では、社会的にも個人的にも、すべてのパラダイムに亀裂や疑問が生じその見直しが早急に迫られています。こんな時こそ、「温故知新」、思わぬ所に良いヒントがありました。人生の後半は「報徳思想」で生きていくと決心させる程の有意義な講演でした。

鴨川チャリティーラン



AM7:30集合 雲行きが怪しくせっかくの事業雨が降らないように 祈りながら参加賞の準備等（オヤジばかりでまるで工場の流れ作業のごとく学生時代のアルバイトを思い出す）している最中 ゲリラ豪雨のような横殴りの雨 残念 晴れ男がいながら、雨のなかでのチャリティーラン 初体験 晴れば、暑いので半袖の私はピチョピチョ 寒く風邪ひきそうやなぁ ト思いつつ 着替えもジャケットも忘れ え・・・えらいこっちゃ！！そして、その雨の中 まさかのクォーターマラソンのスタートたくさんの人が 走っておられました。

スゴイ スゴイ スゴ～イ（千賀委員長より引用）近年の健康ブーム？ 一般のエントリーも多く、年々マラソン人口が増えたような、東京・大阪マラソンが抽選になるのもわかるような気がします。グループランに三役チームとして出場予定の私は（委員会で宮尾委員長に交代してほしいとお願いしたが笑いながらことわられる）、思わずやる気のストレッチ がしかし 無念のクォーターマラソン以外の競技中止の発表！！！！ 秘密練習のおかげで、体は出来上がっていたが・・・（笑）

今日は、トップクラブのマン地固め コロッケの出店に専念！！ いつもながら大好評の中村屋のコロッケ 流石にうまい！！（河原正ワイズいつもありがとう）晴れ男の私の祈りが通じたのか 雨もやみ曇りながら最後まで何とか雨も降らず後片付けまで完了 宮尾委員長今期最後の事業お疲れ様でした。

雨のためいつもより早く終わりましたが たくさんのトップスメンバー・ご友人に来ていただき やっぱりうちのクラブはいいメンバーばかりだなと実感する楽しい一日でした。





ぐんぐん焼肉交流会が5月29日に行われました。地域奉仕委員長として迎える最後の大きな事業でした。交流会は日程を半年ほど前から決めて、それに向かい万全の段取りで迎えるつもりでした。所が私舞田は土壇場にならないと動けないタイプ（ずぼらなだけですが）なのでちょっぴり不安もありましたが前日からリトリートセンターに入り、メンバーの方々の協力もあり（足らずもありましたが）どうかこうにか用意が出来ました。前日からすごい雨で、ぐんぐんさんも交流会の為にたくさんアトラクションを考えてくださり色々準備されていましたが、交流会がリトセン内の食堂で行われる事になり急きょ変更や中止に・・・自らの日頃の行いを振り返ってみましたが、思い当たる節もないようにおもうのですが？食堂での交流会は少し難しいかなと思っていましたが、参加して下さったメンバーの方が迅速に対応して下さいましたという間に交流会場に早変わりしました、やっぱりトップスは最高です、本当にそうして交流会はスタートしたのですが、ぐんぐんハウスの職員の方や、仲間のかたの笑顔がたくさん見られてこの悪天候でも開催出来て良かったと本当に思いました。こちらがサポートという形のはずの交流会でしたが、最後には仲間の方が作ったメダルと和紙で作った小物までプレゼントして頂きとてもビックリしました。当日足元の悪い中参加して下さいましたメンバーの方々、それと料理長として手伝って下さったグローバルクラブの松谷さん本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。この交流会を最後に地域奉仕の事業はほぼ終わりです。一年間勉強不足でたくさんの方にご指導、ご指摘して頂き、何とか一年間過ぎようとしています。事業をこなしていき、自信が付きまた不安になったりの繰り返しでしたが、皆さんの温かい心で楽しく過ごす事が出来ました。こんな最高のクラブの一員でよかったなと思います。皆さんこの最高のクラブに新しいメンバーを誘い、また新しい輪を作りましょう（次期も兼ねてます）また次期もよろしくお願い致します。



大震災ボランティア

太野垣 裕二 ys



今回の東日本大震災は想像を絶する規模の震災である事が時を時が経つと共に私達関西在住の人々にも深く浸透して来たと思います。最初テレビで津波の様子や福島原発の被災状況など見ている限りでは「大変な被害だな」と思いはしても現実の部分ではまだ緊迫感からは少し遠い様に感じていました。しかし、身の回りに生の情報や震災によって起きているいくつかの現実（マスメディアの情報・品不足・放射能漏れ・海外からの援助など）がいつしか日本にとって大変大きな試練を課せられていると実感させられました。

そんな中で今回、きゅうたなべ倶楽部さんの御提供で京都在住の学生が卒業するにあたって処分する家具や電化製品（むろん全て実用可能できれいな物ばかり）を京都に避難されている震災被災者の皆さんに無償提供するボランティアを実施されました。

主催者である株式会社ウエダ本社様のお借りして実施した今回の「家具・家電無償ご提供のご案内」では冷蔵庫・洗濯機・掃除機・ベッド・コタツ・棚・炊飯機などさまざまな物が250㎡ほどのスペースに並べられ、延べ60人ほどの被災者の方がお見えになったかとおもわれます。皆さんそれぞれ思い思いの物をお持ち帰られましたが、誰一人として物の選択で揉め事も無かったですし、帰り際には明るい笑顔で「ありがとう」の感謝の言葉を述べられてお帰りになりました。その中で私達の行いはどこまで皆さんに対して伝わったかわかりませんが、少しでも同じ日本で生きている被災地の人々に対して、一緒にこれからも生きてく手助けが出来ればと言う思いを抱きつつ皆さんを見送り致しました。

最後になりましたが きゅうたなべ倶楽部、ウエダ本社、京都YMC A、在京ワイズメンズクラブ、学生団体ゆい、京都大学リユース市実行委員会、京都災害ボランティア支援センター各位の今回の試みに敬意を表すと共に今後も続けて行かれる事を念じております。もちろん我がトップスクラブも大活躍していた事を最後に報告させていただきます！！ 感謝



写真は語る

森田 茂実 ys



これは27年位前に400ccのバイクで富士山周辺へツーリングしたとき
の一枚だと思います。

富士五湖のいくつかを巡り、松原湖の民宿へ飛び込みで宿泊したよう
に記憶しています。写真の革のツナギは、衣裳ケースに入って押入れの
奥に眠っていますが着ることはないと思います。なぜなら、20キロも
体重は落とせません。(笑)

この時だったかどうかわかりませんがバイクに跨がったまま、中央分
離帯に足を掛けて2、3分止まってしまったことがありました。そんな
ことを思い出させてくれる一枚の写真です。

編集後記

まず最初にメンバーの皆様に誠心からお礼を申し上げたいと思います。今期が始まる前、現倉会長から「千賀君、頼むぞ」と言われブリテン委員長を拝命しました。そして、私の能力不足や仕事の忙しさの中でも何とかブリテンを発行する事ができましたのは、ひとえに原稿依頼に嫌な顔をせず、二つ返事で了解を頂いたメンバーの皆様のおかげです。(原稿が遅くなったり、時には締め切り期限を超えて次号となったケースもありましたが、私には取りあえず早く原稿依頼を受けていただいた皆様に感謝しております。)

感謝すべき人は多いのですが、その中でも特に、忙しい中、毎回、委員会に一人の委員として参加いただいた温厚な倉会長、そしてユニークな人物評価(単に物まねが上手だけと言う人もいますが)で委員会に笑いを持ちこみ、また真面目な編集作業等についての確かな判断を示してくれた次期東田会長、そして、八木委員には今までのブリテンには無い、動きのある素晴らしい写真を提供して頂きました。また、ブリテン委員でも無いのに、後半のブリテン発行を受け持ち、毎回、必要枚数をプリントアウトして例会に持参してくれた加藤信一ワイズ。そして、最後になりましたが、締め切りをオーバーしても嫌な顔をせず無理を聞いて頂いたピクセルの森様。本当に、皆様、有難うございました。

さて、ブリテンに関しての印象ですが、最初の8月号から「写真は語る」シリーズが始まり、倉会長の幼少期の写真、3歳頃の写真でしょうか、非常にかわいらしく、そしてその写真を撮った人は誰か知りませんが「愛しさいっぱい」を感じさせる写真アングルでした。また、藤田書記の高坂スタジオでのプロの写真、上質のウイスキーを連想させる素晴らしい味のある写真であった事を覚えています。また、八木ブリテン委員の、やはりプロの写真はまるでアニメーションの様で「オッ」と思われたメンバーもあったのではないかと思います。そして、ヘッドには牧野y「京都N01クラブを目指して」の原稿を掲載しました。思い切った内容で、今期のメンバー増強の良い弾みとなりました。また、1月号のクリスマス例会の写真は素晴らしいショットが数多く、紙面の制限があり残念であった事を記憶しています。もっと写真を掲載したかったと思っています。

4月号のメンバースピーチ例会は、内容が素晴らしく、新しいメンバーの良さが十分に発揮され、古いメンバーとのつながりができ、またその繋がりが太くなった様な一体感を感じさせる例会で、良く印象に残っています。この原稿は久しぶりに千賀が書きました。そして今期の「写真は語るシリーズ」は途中となっている為、次期の西浦ブリテン委員長が引き継いで下さると聞いております。(本人から直接)ちなみに、今期ブリテンの「写真は語る」には22人のメンバーに参加いただきました。(8月号:倉会長・藤田y、9月号:河原(祥)y・太野垣y・渡邊(建)y、10月号:新山(兼)、11月号:東田y・笠井y、12月号:岡田y・巴山y、1月号:平間y・廣田y、2月号:舞田y・高坂y・石田y、3月号:寺内y・千賀y、4月号:清水y、5月号:山田y・田頭y・渡邊(與)y、6月号:森田y)

それでは最後になりましたが紙面に余裕ができましたので、未掲載のクリスマス例会の写真を掲載いたします。



「私たち人間は、決して一人では生きられないのです。なぜなら人と共に生きようになされてきているからです。人と共に生きるとは、私たちが愛に生きているということです。私たちは愛によって生きているのです。私たちには愛が必要で、愛なしには生きていけないのです。」

私たちYMCA、ワイズメンズクラブがいつも向かい合っている言葉です。東日本の大震災の被災者の方々への支援は勿論ですが、日ごろより小さな子どもたちから青年、お父さん、お母さん、中高年の方々、更には障がいのある方と共に、言葉や文化の異なる外国人の方々とも寄り添って生きることが求められています。

私たちの活動の一つひとつが、具現化するための大きな役割を果たしているかどうか、私たち自身が試されているのではないのでしょうか。

1. YMCAサマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時 キャンプ、デイキャンプ

会員 6月7日(火)～8日(水) 午前10時～午後7時

会員・一般 6月9日(木)～ 午前10時～午後7時

電話(075)231-4388 (お問合せも左記電話まで)

会員先行申込期間に限りFAX・Eメールでもお申し込みいただけます。FAX(075)251-0970

Eメール campmoushikomi@kyotoymca.or.jp

短期集中スイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室、幼児わくわく運動教室

会員 6月10日(金) 午前10時～

会員・一般 6月10日(金) 午後2時～

電話(075)255-4709 (お問合せも左記電話まで)

2. 京都YMCAリトリートセンター夏季準備ワークご協力をお願い

夏季利用の前の準備ワークを下記日程で予定しております。利用者が快適に、活動できるよう準備したくご協力の程よろしくお願いいたします。

実施日 2011年6月26日(日)

集合 午前9時30分 解散 午後3時頃

ワーク内容 草刈・施設清掃・整備など

お問合せ 京都YMCAリトリートセンター事務局 中村まで 電話(075)231-4388 詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

3. 京都YMCAサバエ教育キャンプ場設営ワークご協力をお願い

サマーキャンプの季節が近づいてきました。たくさん子ども達がサバエ教育キャンプ場で貴重なひと時を過ごし、成長する事が出来るのも長年にわたるワイズメンズクラブの皆様の支えの賜物と感謝致しております。今年も以下の日程で設営ワークを予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

実施日 2011年7月3日(日)、7月10日(日)

場所 サバエ教育キャンプ場滋賀県近江八幡市

集合 午前8時30分 解散 午後3時

昼食をYMCAで用意させていただきます。まもなく詳しい案内を各クラブにお配りします。恐れ入りますが、ご参加いただく人数を6月18日(土)までにYMCAサバエキャンプ場 担当廣田までお知らせください。電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

4. ボランティアセミナーのご案内

ボランティアセミナー「死に向かい合う - ホスピスでの経験から」田村恵子さんからのメッセージ 講師 田村恵子氏 日本に200人いる日本看護協会認定がん看護専門看護師のパイオニアのひとり。ホスピスでがん患者を最後まで看取り、家族への看護にも取り組む姿勢がNHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で2008年に放映され、反響を呼ぶ。現在淀川キリスト教病院・ホスピス主任看護課長。

日時 6月25日(土) 午後6時30分～8時30分

場所 京都YMCA 参加費 お一人300円

がん患者さんとそのご家族へ 第53回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、癌とうまく付き合う為の情報交換の場です。

日時 6月18日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA 参加費 お一人300円

ともお申込は京都YMCA 電話(075)231-4388 または vb@kyotoymca.or.jp

スケジュール

6月

6月 4日(土)	東日本区大会
～5日(日)	
6月11日(土)	西日本区大会
～12日(日)	
6月18日(土)	引継例会
6月29日(水)	役員会

次期役員紹介

会長	東田 吉未		
副会長	新山 兼市	牧野 充記	
書記	乙坂 優次	宮尾 勝己	
会計	廣田 隆治	高坂 幸征	
次期会長	牧野 充記		
直前会長	倉 卓也		
メネット会長	東田 麻里		
連絡主事	山田 誠		
Yサ	藤田 正康	CS	森田 茂実
EMC	舞田 智之	交流	石田 博紀
ファンド	河原 祥博	ブリテン	西浦 功
ドライバー	八木 薫史	ビジョン	倉 卓也
京都部会実行委員会			新山 兼司
西日本区LD委員会委員			倉 卓也
西日本区JWF管理委員会委員			乙坂 優次
西日本区組織検討・安全対策委員長			乙坂 優次